

令和 3 年 6 月 9 日現在

機関番号：16401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18K02581

研究課題名(和文) 学力を保証する小学校全教科横断的カリキュラム編成原理

研究課題名(英文) Cross-curricular curricula principles that guarantee to achieve gaining knowledges and skills required in elementary schools.

研究代表者

藤田 詠司 (Fujita, Eiji)

高知大学・教育研究部人文社会科学系教育学部門・教授

研究者番号：60219003

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文)：インドネシア小学校における統合的テーマ学習にはクモの巣モデルが採用され、また、その核になるテーマは、低学年ではトピック、学年が上がるにしたがってトピックと概念が選択されている。クモの巣モデルでは、核になるテーマと各教科に何らかの関係性もたされるが、教科相互の関係性は求められない。全ての教科の内容を網羅しながら統合カリキュラムを作成するためには、内容的関係性を見いだしやすいテーマを核に据え、教科相互の関係性を必ずしも求めないクモの巣モデルが使い勝手のよいモデルであったと推測される。日本の小学校で全教科の内容を網羅する教科横断的学習カリキュラムを作成する場合は参考になるであろう。

研究成果の学術的意義や社会的意義

平成29年版学習指導要領では、子どもたちに確かな学力を身につけさせるために、教科等横断的な学習と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を学校に求めている。特に教科等横断的な学習を実現するために、学校がカリキュラムマネジメントを行うことを求めている。しかし、どの教科のどの内容をどのように組み合わせたらよいか、それはなぜかを示しているわけではない。インドネシア小学校における統合的テーマ学習にはクモの巣モデルが採用され、また、その核になるテーマは、低学年ではトピック、学年が上がるにしたがってトピックと概念が選択されていることは、全教科を網羅する教科横断的カリキュラム作成の参考になる。

研究成果の概要(英文)：A web model is adopted for integrated theme learning in Indonesian elementary school, and the core theme is a topic in the lower grades, and topics and concepts are selected as the grade goes up. In the spider web model, there is some relationship between the core theme and each subject, but the relationship between the subjects is not required. In order to create an integrated curriculum that covers the contents of all subjects, the spider web model, which focuses on themes that make it easy to find content relationships and does not necessarily require mutual relationships between subjects, was an easy-to-use model. Gussed. It will be helpful when creating a cross-curricular learning curriculum that covers all subjects in Japanese elementary schools.

研究分野：社会科教育学

キーワード：教科横断的学習 カリキュラムマネジメント 統合的テーマ学習 クモの巣モデル

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

平成29年3月に告示された学習指導要領では、子どもたちに確かな学力を身につけさせるために、教科等横断的な学習と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことを学校に求めている。特に教科等横断的な学習を実現するために、学校がカリキュラムマネジメントを行うことを求めている。しかし、どの教科のどの内容をどのように組み合わせたらよいか、なぜそのようにしたらよいかを示しているわけではない。最終的には判断で独自の教科横断的な学習を組織しなければならない学校が必要とするのは、教科横断的な学習を組織する際の、基本的な内容編成原理であろう。

教科横断的な学習を組織するための内容編成原理を明らかにするために、諸外国の事例を検討することは有効であろう。インドネシアでは2013年カリキュラムによって、小学校の全学年に、既存の教科の目標・内容を記載すると同時に、全学年において教科横断的な学習を推奨する仕組みを導入し、2016年以降3年かけて（1年生と4年生から始めて、2年生と5年生、3年生と6年生に順次）全学年で教科横断的な学習のみを行うこととした。小学校の全学年で教科横断的な学習のみのカリキュラムを実施するため、2013年以降、全学年を縦断するテーマ別の教科書が作成され、使用されている。

2. 研究の目的

全教科横断的な内容編成を課しているインドネシア2013年カリキュラムに準拠して作成された小学校1年生～6年生までのテーマアプローチ教科書と教師用指導書、首都ジャカルタ、地方都市パレンバン市、ジョグジャカルタ市、マナド市の、国家試験成績で特徴的な小学校におけるカリキュラムと実践、協定校であるスリウィジャヤ大学教育学部等で実施されているテーマアプローチに関する教員養成・研修内容を分析することで、インドネシア小学校において全教科横断的なカリキュラムがどのような考え方によって編成され、そのことによって学力がどのように保証されているかを明らかにする。そのことをもとに、学力を保証する全教科横断的なカリキュラム編成原理を明らかにする。そして、明らかにした全教科横断的なカリキュラム編成原理を、日本の小学校における教科横断的な学習カリキュラムマネジメントにどのように活かすことができるか考察する。

3. 研究の方法

1) 2013年カリキュラムにおけるテーマアプローチの位置づけの確認

2) 2013カリキュラム準拠教科書・教師用指導書の分析

3) 国家試験成績で特徴的な小学校におけるカリキュラム・実践の分析

4) テーマアプローチに関する教員養成・研修内容の分析

5) 各種分析の総合と日本の小学校における教科横断的な学習カリキュラムマネジメントへの活用方法の検討

ただし、2020年から2021年にかけて新型コロナウイルス感染症が世界中で広まったため、海外渡航が困難になった。また、インドネシアでは国家試験が中止となり、大学・学校も断続的に休校となった。そのため、3)と4)については十分に実施することができなかった。

4. 研究成果

1) はじめに

インドネシアでは、2013年カリキュラムによって、小学校の全学年に統合的テーマ学習が導入された。2006年カリキュラムでは、1年生から3年生までに統合的テーマ学習が導入されていたが、2013年カリキュラムによって、4年生から6年生までにも統合的テーマ学習が導入されることになった。カリキュラム上の内容編成が統合的テーマ原理によって行われているのではない。カリキュラム上は、インドネシア語や算数などの、従来の教科が存在し、教科ごとに目標・内容が示されている。しかし、授業を計画し、実施する際には、統合的テーマアプローチの採用が求められている。教科書の内容も、統合的テーマ原理によって編成されている。本論文では、インドネシア小学校では、どのような目標のもとどのような教科が設定されているのか、統合的テーマ学習はどのような内容編成によって行われることになっているのか、統合的テーマ学習の統合の原理はどのようなものかについて明らかにしていく。

2) 2013年カリキュラムの概要

2013年カリキュラムでは、小学校教育全体の目標と各教科の目標を、どのように規定しているのだろうか。また、総合的テーマ学習はどのように位置づけられているのだろうか。小学校教育全体の目標は「中核コンピテンシー」として、各教科の目標は教科ごとの「基礎コンピテンシー」として規定している。

中核コンピテンシーは、「宗教的態度」、「社会的態度」、「知識」、「知識の応用」の4つのカテゴリーについて、おおそ学年別に設定されている。〈図表1〉「宗教的態度」は、各児童が信仰する宗教を受入、尊重し、行う態度を養うことを目標としている。「社会的態度」は、家族や友だち、隣人、先生という他者と適切にかかわる態度を養うことを目標としている。「知識」は、さまざまな現象に興味をもち、それらに関する知識を得ることを目標としている。そして「知識の応用」は、習得した知識を適切な方法で表現することを目標としている。このような中核コン

ピテンシーによって、1年生から6年生までの学習が垂直的に関連付けられると同時に、同一学年の学習が水平的に関連づけられることになる。

各教科の目標は、「基礎コンピテンシー」として、教科ごとに設定されている。2013年カリキュラムでは、小学校には8つの教科が設定されている。

このうち、理科と社会科のみ第4学年から第6学年までの教科であり、残りは全学年で学習する教科である。〈図表2〉例えば社会科の場合、第4学年から第6学年までの各学年について、中核コンピテンシーの4つのカテゴリー毎に、3～5の目標が設定されている。〈図表3〉「知識」や「知識の応用」のみならず、「宗教的態度」と「社会的態度」についても、社会科の学習対象にかかわる目標が設定されており、社会科の学習をとおして、小学校教育全体の目標達成が図られる関係となっている。社会科の学習対象は、「知識」に関する基礎コンピテンシーによって示されている。第4学年は、「周辺」の自然環境、社会環境、文化環境、経済環境およびヒンドゥー仏教時代とイスラム時代の政治、社会、経済、教育である。第5学年と第6学年は、国レベルの自然環境、社会環境、文化環境、経済環境および独立運動時代以降の政治、経済、社会、教育である。第5学年と第6学年の違いは、第5学年ではこれらの対象に関する事実に知識の習得が目標とされているのに対し、第6学ではそれに加えて概念的知識の習得も目標とされていることである。また、表現力については、第4学年では口頭による表現力、第5学年では文書による表現力、第6学年ではそれらに加えて写真などのさまざまなメディアによる表現力の育成が目標とされている。これら学年毎の学習対象に関する知識の習得と表現力の育成を通して、「宗教的態度」については、時間や人間、環境を創造した神の恵みを受け取り、社会・文化・経済・政治制度を考慮しながら宗教的教えを行う態度を養うことが目標とされ、「社会的態度」については、それぞれの学習対象に即して、賢明さ、責任、思いやり、礼儀正しさ、自信などの態度を養うことが目標とされている。

このように、目標は教科ごとに示され、それらの目標によって教科ごとにとりあつかう学習対象も示されているにもかかわらず、すべての学年において、すべての教科を横断する統合的テーマ学習が採用されるのはなぜであろうか？ 統合的テーマ学習は「さまざまな科目のさまざまな能力をさまざまなテーマに統合する学習アプローチ」であり、「学習プロセスにおける態度、スキル、知識の統合」と「関連するさまざまな基本概念の統合」という2つの側面をもっている。後者の側面があるので、子どもたちは基本概念を部分的に学ぶことはなく、子どもたちにとって「学習のまるごとの意味」が与えられることになる。このような統合的テーマ学習を採用する理由について、第1学年から第3学年に関しては発達特性への配慮を、第4学年から第6学年に関しては思考力育成へのメリットが簡潔に述べられているのみである。すなわち、第1学年から第3学年の低学年はいまだ抽象的に考えることができない年齢であるから、そして第4学年から第6学年の高学年では将来的に必要な学際的思考力を育成するメリットがあるので、統合的テーマ学習を採用するのである。

3) テーマ構成

全教科を横断する統合的テーマ学習では、どのようなテーマが設定されているのであろうか。各テーマはどのような内容で構成されているのであろうか。

学年毎に8ないし9テーマが設定されている。2013カリキュラム公表当初は、第1学年と第2学年は各学年8テーマ、第3学年と第4学年は各学年9テーマ、第5学年は5テーマ第6学年は6テーマで

| 第1学年の中核コンピテンシー | 第3学年の中核コンピテンシー | 第4学年の中核コンピテンシー | 第6学年の中核コンピテンシー |
|--|---|---|---|
| 1.信頼する宗教の教えを受け入れ、行う。 | 1.信頼する宗教の教えを受け入れ、行う。 | 1.信頼する宗教の教えを受け入れ、尊重し、行う。 | 1.信頼する宗教の教えを受け入れ、尊重し、行う。 |
| 2.家族や友だち、先生との相互作用における公正な行動、規律、責任、行儀、関心、自信を所有する。 | 2.家族や友だち、隣人、先生との相互作用における公正な行動、規律、責任、行儀、関心、自信を所有する。 | 2.家族や友だち、隣人、先生との相互作用における公正な行動、規律、責任、行儀、関心、自信を所有する。 | 2.家族や友だち、隣人、先生との相互作用における公正な行動、規律、責任、行儀、関心、自信を所有する。 |
| 3.自分自身や神の創造物である生き物とその活動、そして家庭や学校、遊び場、出会いあふような物に関する知覚的興味、関心、責任、そして質問によって得た事実に基づく知識を理解する。 | 3.自分自身や神の創造物である生き物とその活動、そして家庭や学校、遊び場、出会いあふような物に関する知覚的興味、関心、責任、そして質問によって得た事実に基づく知識を理解する。 | 3.自分自身や神の創造物である生き物とその活動、そして家庭や学校、遊び場、出会いあふような物に関する知覚的興味、関心、責任、そして質問によって得た事実に基づく知識を理解する。 | 3.自分自身や神の創造物である生き物とその活動、そして家庭や学校、遊び場、出会いあふような物に関する知覚的興味、関心、責任、そして質問によって得た事実に基づく知識を理解する。 |
| 4.明確な言語と論理によって、美的作品によって、健康な子どもを反映する動きに基づいて、書かれた言語とイメージのある子どもの行動を反映する行為によって事実に基づく知識を表現する。 | 4.明確な言語と論理、体系によって、美的作品によって、健康な子どもを反映する動きに基づいて、書かれた言語とイメージのある子どもの行動を反映する行為によって事実に基づく知識を表現する。 | 4.明確な言語と論理、体系によって、美的作品によって、健康な子どもを反映する動きに基づいて、書かれた言語とイメージのある子どもの行動を反映する行為によって事実に基づく知識を表現する。 | 4.明確な言語と論理、体系によって、美的作品によって、健康な子どもを反映する動きに基づいて、書かれた言語とイメージのある子どもの行動を反映する行為によって事実に基づく知識を表現する。 |

図表2 教科編成

| 教科 | 週あたり時間数 | | | | | |
|---------------------|---------|----|----|----|----|----|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| 1.宗教・性徳 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 2.ヒンディー語・市民性教育 | 5 | 6 | 6 | 6 | 4 | 4 |
| 3.インドネシア語 | 8 | 8 | 10 | 7 | 7 | 7 |
| 4.算数 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 5.理科 | - | - | - | 3 | 3 | 3 |
| 6.社会科 | - | - | - | 3 | 3 | 3 |
| グループA芸術・工芸(地域科含む) | 4 | 4 | 4 | 6 | 6 | 6 |
| 2.体育・スポーツ・健康(地域科含む) | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| 週あたり合計数 | 30 | 32 | 34 | 36 | 36 | 36 |

図表3 社会科の基礎コンピテンシー

| 4年生 | 基礎コンピテンシー |
|---|---|
| 1.信頼する宗教の教えを受け入れ、尊重し、行う。 | 1.すべてを尊重することが時期を創造した神の恵みを受け取る。 1.2人の聖典における社会的、経済、政治、経済、政治制度を考慮しながらインドネシア人として考え、行動することにより宗教的態度を養う。 1.3.人間とその環境を創造した神の恵みを受け取る。 |
| 2.家族や友だち、隣人、先生との相互作用における公正な行動、規律、責任、行儀、関心、自信を所有する。 | 2.1.人間と神との関係に基いた神の恵みを受け取る。 2.2.社会、経済、教育の側面から理解する。 2.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |
| 3.自分自身や神の創造物である生き物とその活動、そして家庭や学校、遊び場、出会いあふような物に関する知覚的興味、関心、責任、そして質問によって得た事実に基づく知識を理解する。 | 3.1.人間、空間的接続性、時間における変化と継続性、社会、経済、教育を空間、時間と神との関係に基いた神の恵みを受け取る。 3.2.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |
| 4.明確な言語と論理、体系によって、美的作品によって、健康な子どもを反映する動きに基づいて、書かれた言語とイメージのある子どもの行動を反映する行為によって事実に基づく知識を表現する。 | 4.1.空間、空間的接続性、時間における変化と継続性の両方、人間の行動の側面から理解する。 4.2.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |

| 5年生 | 基礎コンピテンシー |
|---|---|
| 1.信頼する宗教の教えを受け入れ、尊重し、行う。 | 1.すべてを尊重することが時期を創造した神の恵みを受け取る。 1.2.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 1.3.人間とその環境を創造した神の恵みを受け取る。 |
| 2.家族や友だち、隣人、先生との相互作用における公正な行動、規律、責任、行儀、関心、自信を所有する。 | 2.1.人間と神との関係に基いた神の恵みを受け取る。 2.2.社会、経済、教育の側面から理解する。 2.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |
| 3.自分自身や神の創造物である生き物とその活動、そして家庭や学校、遊び場、出会いあふような物に関する知覚的興味、関心、責任、そして質問によって得た事実に基づく知識を理解する。 | 3.1.人間、空間的接続性、時間における変化と継続性、社会、経済、教育を空間、時間と神との関係に基いた神の恵みを受け取る。 3.2.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |
| 4.明確な言語と論理、体系によって、美的作品によって、健康な子どもを反映する動きに基づいて、書かれた言語とイメージのある子どもの行動を反映する行為によって事実に基づく知識を表現する。 | 4.1.空間、空間的接続性、時間における変化と継続性の両方、人間の行動の側面から理解する。 4.2.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |

| 6年生 | 基礎コンピテンシー |
|---|--|
| 1.信頼する宗教の教えを受け入れ、尊重し、行う。 | 1.インドネシアの人々に地理的、経済的、文化的、政治的側面を伝える機会を与える神の恵みを受け取る。 1.2.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 1.3.人間とその環境を創造した神の恵みを受け取る。 |
| 2.家族や友だち、隣人、先生との相互作用における公正な行動、規律、責任、行儀、関心、自信を所有する。 | 2.1.人間と神との関係に基いた神の恵みを受け取る。 2.2.社会、経済、教育の側面から理解する。 2.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 2.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |
| 3.自分自身や神の創造物である生き物とその活動、そして家庭や学校、遊び場、出会いあふような物に関する知覚的興味、関心、責任、そして質問によって得た事実に基づく知識を理解する。 | 3.1.インドネシア社会における社会的、経済的、教育的、文化的側面から理解する。 3.2.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 3.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |
| 4.明確な言語と論理、体系によって、美的作品によって、健康な子どもを反映する動きに基づいて、書かれた言語とイメージのある子どもの行動を反映する行為によって事実に基づく知識を表現する。 | 4.1.インドネシア社会における社会的、経済的、教育的、文化的側面から理解する。 4.2.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.3.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.4.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.5.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.6.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.7.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.8.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.9.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 4.10.政治、社会、経済、教育の側面から理解する。 |

あった。しかし、2014年に発行された教科書では、第1学年から第3学年は各学年8テーマ、第4学年から第6学年は各学年9テーマとなっている。教科書は、学年別に、テーマ毎に1冊作成されている。第1学年から第6学年までの各学年に設定されているテーマは図表4に示すとおりである。〈図表4〉学年毎にテーマ1からテーマ8ないしはテーマ9まで番号が振られているが、同じテーマ番号に類似のテーマが割り振られているわけではない。言い換えると、第1学年から第6学年までのテーマの明確な系統性は見られない。全体としては、自分自身、人間関係、自然の様子、動植物の世話、環境や技術、社会の様子、仕事、歴史にかかわるテーマが、各学年に設定されている。

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 |
|------|----------------|------------|------------|--------------|--------------------|-----------|
| テーマ1 | 私自身 | 仲よく生活 | 動植物の繁殖 | 共生の美しさ | 近所にあるもの | 生き物を守る |
| テーマ2 | 私の好きなこと | 環境で遊ぶ | テクノロジ | 常にエネルギーを節約する | 生活の中の出る廃棄物 | 違いの中の統一 |
| テーマ3 | 私の活動 | 私の毎日の仕事 | 自然の変化 | 生き物のケア | 社会の調和 | 著名人と意見 |
| テーマ4 | 私の家族 | 清潔で健康な生活 | 社会環境のケア | 様々な仕事 | 健康は重要 | グローバル化 |
| テーマ5 | 私の経験 | 私の経験 | 伝統的な遊び | 私のヒーロー | インドネシア人であることを誇りに思う | 企業家精神 |
| テーマ6 | 清潔で健康で美しい環境 | 動物や植物の世話 | 友情の美しさ | 私の夢 | 熱と移動 | 健康な社会のために |
| テーマ7 | 私のまわりのもの、動物、植物 | 一緒に | エネルギーとその変化 | 私の国の多様な美しさ | 生活の中の出る廃棄物 | リーダーシップ |
| テーマ8 | 自然の出来事 | 家の中と旅行での安全 | 地球と宇宙 | 私の住む地方 | 私たちの友人環境 | 私の地球 |
| テーマ9 | | | | 私の国の豊かさ | 私たちのまわりのもの | 宇宙を探検する |

第1学年から第6学年までの教科書を見ると、各テーマには、第1学年から第3学年までは4つのサブテーマ、第4学年から第6学年までは3つのサブテーマが設定されている。例えば、第6学年のテーマ2「違いの中の統一」には、サブテーマ1「違いの中でうまくやっていく」、サブテーマ2「目標を達成するために努力する」、サブテーマ3「団結する」が設定されている。そして、それぞれのサブテーマには6つの活動が設定されている。例えば、第6学年テーマ2のサブテーマ3「団結する」の6つの活動は、図表5に示すとおりである。〈図表5〉各活動には、「学習活動」、その学習活動によって「育成されるコンピテンシー」、その学習活動に統合される教科としての「学習のフォーカス」が明記されている。子どもたちは、6つの活動における一連の学習活動を通して、さまざまな動物が環境に適応していることや、さまざまな人びとが社会の中で団結していること、さまざまな構造物の中に調和している角度を見出すことができることなどを学んでいく。

例えば活動2では、子どもたちは「統一をテーマにしたダンスを計画する」、「非標準単位および標準単位を使用して三角形の角度を測定する」、「新秩序と改革の時代における社会の変化に関する重要な情報を記述する」という3つの学習活動を行い、創造的な態度や愛国心、計画し、測定し、コミュニケーションする能力、ダンスや角度測定、「新秩序と改革」という第2代大統領スハルト時代における社会の変化についての知識を習得する。「統一をテーマにしたダンスを計画する」学習活動では、まず教師が、統一の価値を表現する方法にはいろいろなものがあるが、そのうちのひとつがダンスであることを児童に伝え、東ヌサテンガラ地方の伝統的なダンスであるレゴレゴダンスについて調べるよう促す。児童はレゴレゴダンスについて書かれた文章を読み、その内容を参考にしながら、統一をテーマにしたダンスを、ダンサーの数、列と動き、伴奏者などについて考えながら、グループで計画・練習・紹介する。「非標準単位および標準単位を使用して三角形の

| 学習活動 | 育成されるコンピテンシー | 学習のフォーカス |
|---|---|--------------------------------|
| 活動1 動物が環境に適応する方法を特定する。 説得力のあるスピーチのテキストを知る 動物の適応方法に関するレポートを作成する。 | 態度: 徹底的に、祖国が大好き。 能力: レポートを観察、伝達、作成する。 | 社会的、理科、インドネシア語 |
| 活動2 統一をテーマにしたダンスを計画する。 非標準単位および標準単位を使用して三角形の角度を測定する。 新秩序と改革の時代における社会の変化に関する重要な情報を記述する。 | 態度: 創造的、祖国が大好き。 能力: 計画、測定、コミュニケーション。 知識: ダンス、角度測定、新秩序と改革の間の社会の変化。 | 文化芸術・工芸、算数、社会科 |
| 活動3 ムービングスターズゲームで、基本的な運動動作のパフォーマンスと組み合わせの概念を練習する。 説得力のあるスピーチを計画する。 動物が環境にどのように適応するかについてのレポートを作成する。 | 態度: 徹底的に、祖国が大好き。 能力: 演説、コミュニケーション、レポート作成。 知識: 基本的な運動、説得力のあるスピーチ、調査報告書のテキスト。 | 体育・スポーツ・健康、理科、インドネシア語 |
| 活動4 統一の基盤としての多様性の調和に関するプレゼンテーションを行う。 非標準単位および標準単位の測定ツールによって角度を測定する。 説得力のあるスピーチを提供する。 | 態度: 自信を持つ、祖国が大好き。 能力: コミュニケーション、測定、分析。 知識: 統一、角度測定、説得力のあるスピーチ。 | 算数、インドネシア語、パンチャシラ・市民教育 |
| 活動5 統一をテーマにしたダンスを見せる。 角度に関する問題を解決する。 国家統一の基盤としての多様性の調和に関するプレゼンテーションを行う。 | 態度: 徹底的である、祖国が大好き。 能力: 作成、問題解決、コミュニケーション。 知識: ダンス、角度、統一。 | 文化芸術・工芸、算数、パンチャシラ・市民教育 |
| 活動6 ムービングスターズゲームで、基本的な運動動作のパフォーマンスと組み合わせの概念を練習する。 説得力のあるスピーチを提供する。 統一の基盤としての調和をテーマにプレゼンテーションを行う。 開発されるコンピテンシー | 態度: 自信を持つ、祖国が大好き。 能力: 基本的な運動、コミュニケーション、分析。 知識: 基本的な運動、説得力のあるスピーチ、統一。 | インドネシア語、体育・スポーツ・健康、パンチャシラ・市民教育 |

角度を測定する」学習活動では、まず教師が、東ジャワのヌグレモ地方のダンスは、円を描くように踊るだけでなく、動きと衣装に三角形が使われていることを児童に伝える。児童は、衣装の一部であるヘッドバンドの写真を観察し、どのような三角形が使われているか観察する。教師は、三角形は、インドネシアの伝統的衣装であるバティックの模様にもつかわれていることを説明する。その後、児童はグリッド紙に三角形を描き、3つの角を切り取って隣り合わせる作業を行うなどして、三角形の3つの角の和は180度であることを理解していく。そして、分度器を使用したり、三角形の角の総和から計算することにより、角度を測る方法を学び、適用する。「新秩序と改革の時代における社会の変化に関する重要な情報を記述する」学習活動では、まず教師が、次のことを児童に伝える。「インドネシア共和国 (NKRI) の統一は維持されなければならない。これは、1945年憲法およびパンチャシラに合致している。」「時代は変わる可能性があり、政府は変わる可能性があるが、国民の一体性と統一はそのままでなければならない。」「インドネシアの人々は、独立を得るために植民者と戦うときにこのことを証明した。」次に、新秩序から改革期までのインドネシア社会の変化の原因と結果について、さまざまな情報源 (図書館の本、新聞、雑誌、インターネット、または周りの大人へのインタビュー) から情報を得ることができることを説明する。児童は、グループで、新秩序と改革の時代における社会の変化を、時系列に沿ってまとめる。そして、次の問いについて考える: 「1. 植民地時代に一体性が重要であったのはなぜか?」「2. インドネシアの人々が団結しなかったらどうなっていたと思うか?」「3. 団結する者は強く、分離する者は脆い」ということばの意味は何か?」

4) 「統合」の原理

上述のテーマはどのような原理で選択・構成されているのでしょうか？ 2013年カリキュラムはこのことを明確に説明していない。そこで、インドネシアの初等教員養成課程の授業においても言及されることのあるFogartyの理論を援用しながら分析することにする。

図表6 統合的学習モデル

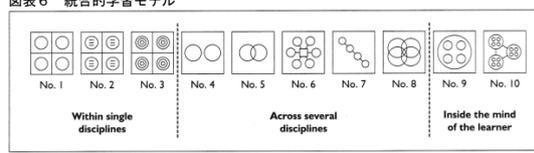


Figure 0.4 How to Integrate the Curricula

Fogartyによると、統合的学習には10種類のモデルがある。〈図表6〉10種類とは、1.多孔性モデル、2.接続モデル、3.入れ子モデル、4.シークエンスモデル、5.共有モデル、6.クモの巣モデル、7.織り糸モデル、8.統合モデル、9.没入モデル、10.ネットワークモデル、である。1~3は「個々の分野の中での統合」、4~8は「幾つかの分野を横断した統合」、9と10は「学習者の頭の中での統合」としてまとめられている。教科横断的統合カリキュラムのモデルとしては、4~8のいずれかが該当する。1~3は教科内での統合モデルであり、9と10は学習者が自主的に実践する統合学習のモデルだからである。

4~8のモデルは、その番号順に、Fogartyにとってより望ましい統合のあり方を示していると思われる。8番目のモデルの名称が「統合モデル」となっていることからそのことがわかる。統合モデルは、「問題解決」や「関係性（を見出す）」などいくつかの教科に共通のスキルを核にして、2つの教科に共通のスキルと、それらスキルが適用される教科固有の内容を結びつけてカリキュラムを構成する。しかし、インドネシアの小学校教科書で採用されているのは、統合モデルではなく、クモの巣モデルである。クモの巣モデルは、核に据えるのはスキルではなく、概念やトピック、問題である。

上述の第6学年のテーマ2「違いの中の統一」では、「統一」という概念が中核に据えられ、「統一」にかかわる内容がいくつかの教科から選択されている。例えば活動2では、「統一をテーマにしたダンスを計画する。」が文化芸術・工芸科から、「非標準単位および標準単位を使用して三角形の角度を測定する。」が算数科から、「新秩序と改革の時代における社会の変化に関する重要な情報を記述する。」が社会科から選択されている。それぞれの教科において「統一」概念にかかわる内容が選択されているが、「ダンス（の計画）」、「三角形の角度」、「新秩序と改革の時代」の間に、内容的な関係はない。他の活動でも同様である。全体として、「統一」という概念が個々の教科の特定の内容と結び付けられているが、教科の内容相互の関係はない。Fogartyの10モデルのうち、クモの巣モデルが採用されている。第1学年から第6学年までの全てのテーマにおいて、クモの巣モデルが採用されている。クモの巣の核に吸えられているテーマは、低学年では「私の好きなこと」や「私の毎日の仕事」のように「トピック」であるが、学年が上がるにしたがって、「自然の変化」や「社会の調和」、「グローバル化」などの「概念」が加わってくる。「問題」に該当するテーマは採用されていない。

5) おわりに

上述のように、インドネシア小学校における統合的テーマ学習には、Fogartyのいうクモの巣モデルが統合的学習モデルとして採用され、また、その核になるテーマは、低学年ではトピック、学年が上がるにしたがってトピックと概念が選択されている。クモの巣モデルでは、核になるテーマと各教科に何らかの関係性もたされるが、教科相互の関係性は求められない。全ての教科の内容を網羅しながら統合カリキュラムを作成するためには、内容的関係性を見だしやすいテーマを核に据え、教科相互の関係性を必ずしも求めないクモの巣モデルが使い勝手のよいモデルであったと推測される。日本の小学校において教科横断的学習カリキュラムマネジメントを行う際には、全教科の内容を網羅するカリキュラムを作成する場合は、インドネシアが採用したクモの巣モデル、核となるテーマには低学年ではトピックを、学年が上がるにしたがってトピックと概念を選択するという方法が参考になるであろう。全教科を網羅せず、特定の2ないし3教科での教科横断的学習を投げ入れ的に計画する場合、2教科での連携を実現する共有モデル、特定のスキルを核にして複数教科の内容を結びつける織り糸モデルや、統合モデルの適用も可能となるであろう。

参考文献

- 1) Kementerian Pendidikan dan Kebudayaan: KOMPETENSI DASAR. Sekolah Dasar (SD)/Madrasah Ibtidaiyah (MI), 2013
- 2) インドネシア小学校統合的テーマ学習用教科書および教師用指導書(第1学年から第6学年), <https://bsd.pendidikan.id>
- 3) Fogarty, Robin; How to integrate the curricula, 3rd ed. Corwin, 2009.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|--|---------------------------|-----------------------|----|
|--|---------------------------|-----------------------|----|

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|---------|---------|